新技術概要説明資料（１／５）

		登録No.	1850
名称	グラスバリアシートＡＳ	収受受付年月日	令和8年5月12日
		変更受付年月日	
副題	高耐久改質アスファルト系保護シート	開発年	令和元年
区分	□1.工法　□2.機械　□3.材料　■4.製品　□5.その他	番号：	4
分類	1-1-3.共通工／法面工		
キーワード	■1.安全・安心　■5.公共工事の品質確保・向上 □2.環境　■6.景観 □3.情報化　□7.伝統・歴史・文化 □4.コスト縮減・生産性の向上　□8.リサイクル	番号：	1 5 6

国土交通省への登録状況	申請地方整備局名	登録年月日	登録番号	評価（事前・事後）
	関東地方整備局	令和5年10月2日	KT-230133-A	評価なし

開発目標（選択）				
□1.省人化	■5.耐久性向上	□9.地球環境への影響抑制	番号：	2, 11
■2.省力化	■6.安全性向上	□10.省資源・省エネルギー		3
■3.経済性向上	□7.作業環境の向上	■11.品質の向上		5
□4.施工精度向上	□8.周辺環境への影響抑制	□12.リサイクル性向上		6

活用の効果	従来技術名：一般的な不織布系防草シート			
1.経済性	□1.向上（　%）	□2.同程度	■3.低下（−84.7%）	番号：3　−84.70%
2.工程	□1.短縮（　%）	■2.同程度	□3.増加（　%）	番号：2　0%
3.品質・出来型	■1.向上	□2.同程度	□3.低下	番号：1
4.安全性	□1.向上	■2.同程度	□3.低下	番号：2
5.施工性	■1.向上	□2.同程度	□3.低下	番号：1
6.環境	■1.向上	□2.同程度	□3.低下	番号：1
7.その他	□1.　（定義済みの値なし）			番号：

開発体制	■1.単独　□2(1)共同研究(民民)　□2(2)共同研究(民官)　□2(3)共同研究(民学	番号：
開発会社	田島ルーフィング（株）	販売会社	協会名

問合せ先				
技術	会社名：田島ルーフィング株式会社 担当部署：防水開発部 担当者名：西田　博明	住所：東京都足立区小台1−4−3 TEL：03 - 3927 - 1143 FAX：03 - 3927 - 1571 mail：nishida-h@tajima.co.jp	
営業	会社名：田島ルーフィング株式会社 担当部署：住建営業部 担当者名：黒瀬　洋二	住所：東京都千代田区岩本町3−11−13 TEL：03 - 5821 - 7713 FAX：03 - 5821 - 2180 mail：kurose-y@tajima.co.jp	

（概要）

①何について何をする技術なのか？

・高耐久改質アスファルト及び表面砂を積層することにより、高耐候性（30年以上）を有し、河川・道路法面等の保護シート。

②従来は、どのような技術で対応していたのか？

・一般的な不織布系防草シートまたは防草コンクリート。

③公共工事のどこに適用できるのか？

・河川堤防・道路法面等の保護（防草）設置工事。

④その他

・シート基材へ高耐久改質アスファルト及び表面砂を積層し、優れた（遮水、遮光性）を有する。

・不織布の抵抗による雑草の貫通防止、優れた（遮水、遮光性能）によって、植物の育成、繁殖を阻害できるため、防草シートとして活用できる。

新技術概要説明資料（２／５）

新技術名称	グラスバリアシートＡＳ	登録No.　1850

（特　徴）

（長　所）

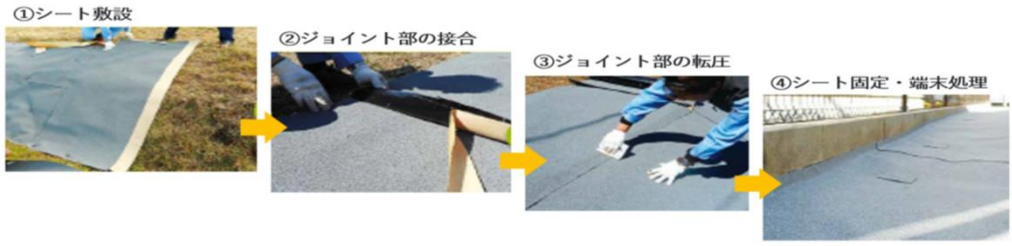
(1) 長期間の遮水性および遮光性等の確保により、耐久性の向上が図れる。
(2) シートの厚さと強度が増し、風に煽られることが無く従来技術に比べて作業員の手間が軽減できる。
(3) 遅延粘着を有した高耐久性改質アスファルトのため、火気を使用せずに施工が可能。
(4) 3色のカラー砕石で色彩的雰囲気に対して適切なシートの選択が可能となり、現場の視覚的な違和感を軽減することができる。

（短　所）

(1) 遅延粘着性の高耐久アスファルト系の貼り合わせシートのため、冬季低温下で施工した場合に未接着の要因があるため、施工時に接合部を軽度に加温しながら貼り合わせる場合もある。

（施工方法）

１．下処理
・施工場所（法面等）の雑草・浮石などの除去をした上で整地を行う。
・法肩、法尻がアスファルト、コンクリートの場合は、水・砂・埃等を取り除く。
２．シート敷設（準備工）
・汎用カッターにて割付に基づき裁断を行う
・施工する箇所に必要な長さのシートを配置して仮敷きする（縦貼り・横貼りの施工性能）
３．ジョイント部の接合・転圧（シート敷設・貼付工）
・シートの仮敷きを行い、接合部分を合わせる。
・シート相互のジョイント部の剥離紙を取り、遅延粘着部を重ねて貼付け作業を行う。
（遅延粘着層は施工直後であれば、貼り直して位置調整が可能である）
・ローラー等で接合部を隙間なく圧着する。施工後は時間経過とともに接合強度が高くなる。
※ジョイント部は、遅延粘着技術によるシート相互の貼りあわせで強固に接合できるので、バーナー等の火気は不要である
４．シート固定・端末処理（アンカー打設・パッチ貼付工）
・ピン打設位置にマーキングを行い、アンカーピンで地面に打設しシートを固定する。
・固定後は、ピン頭部にパッチ貼付けを行う。（パッチはピン固定箇所からの遮水、遮光性を防止する。



（施工単価等）	□1(1).歩掛りあり（標準）　■1(2).歩掛りあり（暫定）　□2.歩掛りなし	1（2）
掲載刊行物	建設物価（　有　・　無　）　掲載誌名（　　）	
	積算資料（　有　・　無　）　掲載誌名（　　）	
その他（カタログなど）	（　　）	

積算資料等

自社歩掛り

施工管理基準資料等

静岡県土木工事施工管理基準

新技術概要説明資料（３／５）

新技術名称	グラスバリアシートＡＳ	登録No.	1850

（適用条件）

（適用できる条件）

適用条件　①現場条件　作業スペースが、1m×2m=2㎡以上確保できる。
適用範囲　①適用可能な範囲　平面及び1割以上の緩勾配

（適用できない条件）

適用条件　①現場条件　1割未満の急こう配
作業スペースが、1m×2m=2㎡以上確保できない。
適用範囲　①適用できない範囲　自然条件、雨天時及び降雪時は作業を行わない。

（設計上の留意点）

施工箇所の面積・形状・勾配等を確認し、必要なシート数や固定方法等を検討する。

（施工上・使用上の留意点）

チガヤ等の強壮雑草が生息している場合、より丁寧な除草処理を施すこと。

（残された課題と今後の開発計画）

なし

（実験等作業状況）

耐候性試験、遮光性試験、遮水性試験、防炎性試験、水質試験、耐防炎性能試験

（添付資料）

実験資料等

①耐候性試験ー（引張強度）②遮光性試験③引張強度試験④折曲げ試験⑤遮水性試験
⑥貫通抵抗性試験⑦グラスバリアシートASカタログ

その他

常時在庫　新緑（5000㎡位）自然砂TS-1（1000㎡程度）　特注色　赤茶

特　許	□1.有り（番号:　　）□2.出願中　■3.出願予定　□4:無し	番号	3
		特許番号	
実用新案	□1.有り（番号:　　）□2.出願中　□3.出願予定　■4:無し	番号	4
		新案番号	

評価・証明	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号
	証明年月日	証明年月日
	制度等の名称	証明機関
	制度等の名称	制度等の名称
その他の制度等による証明	制度名、番号	制度名、番号
	証明年月日	証明年月日
	証明機関	証明機関
	証明範囲	証明範囲

新技術概要説明資料（４／５）

新技術名称	グラスバリアシートＡＳ		登録No.　1850
実績件数	公共機関:	50	民間:

施工実績

発　注　者	施工時期	工　事　名	CORINS登録No.
NEXCOメンテナンス新潟	2020.10月	上信越自動車道法面防草工事	
茨城県	2021.2月	県道15号　国補地道工事	
NEXCOメンテナンス新潟	2021.9月	ボックスカルバート修繕工事	
中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋	2021.10月	東名阪自動車道法面修繕工事	
茨城県	2202.2月	高津橋防草工事	
中日本ハイウェイ・メンテナンス東名	2022.2月	袋井IC防草工事	
香取土木事務所	2025. 3月	県単道路維持工事	
北上川下流河川事務所	2026. 2月	河川堤防防草性能比較試験	
中日本ハイウェイ・メンテナンス東名	2025.5月	東名高速道路　静岡地区維持工事	

新技術概要説明資料（５／５）

新技術名称	グラスバリアシートＡＳ	登録No.　1850



サンプル写真



実績　①



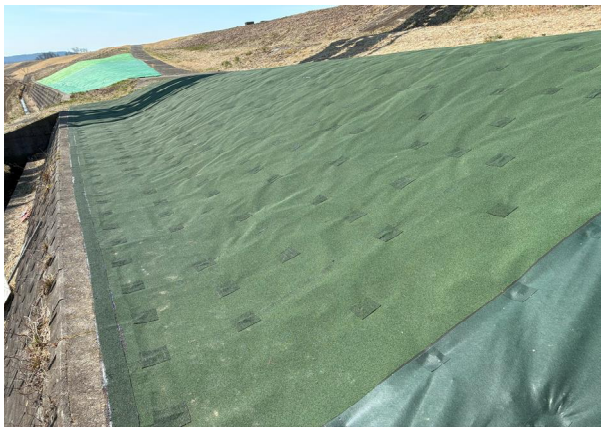
実績　②



実績　③



実績　④



実績　⑤